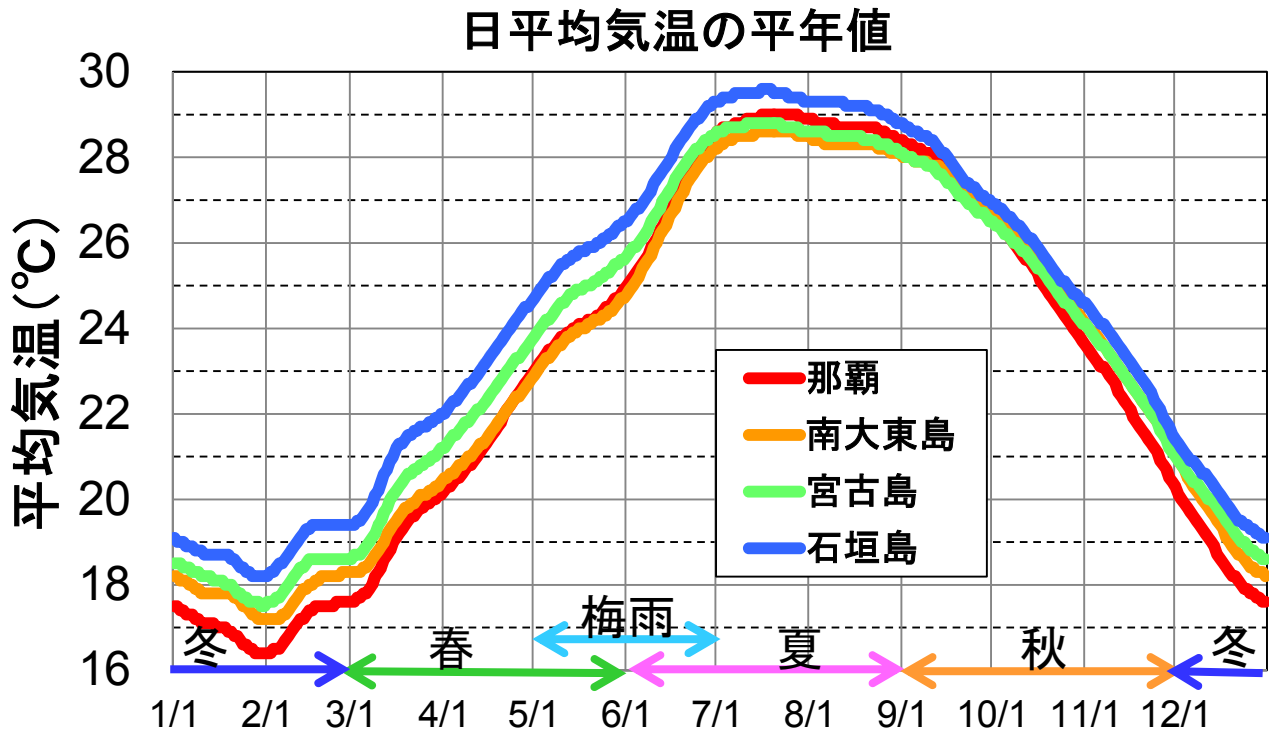


コラム③：気象庁が定める平年値

気象庁では、現在は1981～2010年(昭和56年～平成22年)の30年間の観測値に基づいた平均の値を平年値として使用しており、10年ごとに更新しています。下の図は、4地点(那覇、南大東島、宮古島、石垣島)の平均気温の平年値の推移を示したグラフです。各地点の気温の季節の変化や地点ごとの差がわかります。

平年値は、その時々々の気象(気温、降水量、日照時間等)や天候(冷夏、暖冬、少雨、多雨等)を評価する基準として利用されると共に、その地点の気候を表す値として用いられています。



平年値は、気象庁の観測地点(気象官署とアメダス地点)における、年、3か月、月、旬、日別の値が用意されています。主要な平年値は、気象庁ホームページの「過去の気象データ・ダウンロードページ」で取得できます。なお、気象庁刊行物「平年値(統計期間 1981～2010年)」(CD-ROM)にはすべてのデータが収録されています。気象台でも閲覧もできます。

過去の気象データ・ダウンロードページ

<http://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>

那覇の平年値(過去の気象データ検索ページ)

http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/nml_sfc_ym.php?prec_no=91&block_no=47936&year=&month=&day=&view=



気象庁マスコットキャラクター はれるん

沖縄気象台提供